

2 子どものこころの病気とそのかかわり方

A 広汎性発達障害(自閉症とアスペルガー症候群)

「広汎性発達障害」とは、自閉症および自閉症にきわめて似た特徴を示す発達障害の総称です。また、それぞれに症状が重なり、定義にあてはまらない臨床例が多いため、自閉症・高機能自閉症・アスペルガー症候群をそれぞれ独立した病気と考えるのではなく、類似性のある連続的なものとして「自閉症スペクトラム障害(ASD)」とよんでいます。

① 共通の症状

● 社会性の障害

共生・共感に乏しいという特徴が挙げられます。他人の気持ちや状態を理解することが苦手で、うまくコミュニケーションをとることができません。

● コミュニケーションの手段の障害

言葉をじょうずに使ったり、身振りや表情で、人に自分の気持ちを伝えることが苦手で、同じように、相手の言葉や表情から相手の気持ちや状況を理解することが苦手で、あいまいな指示や抽象的な表現は苦手で、写真や絵・文字のほうが比較的、理解できます。

自閉症スペクトラム障害 (ASD)
Autistic Spectrum Disorder

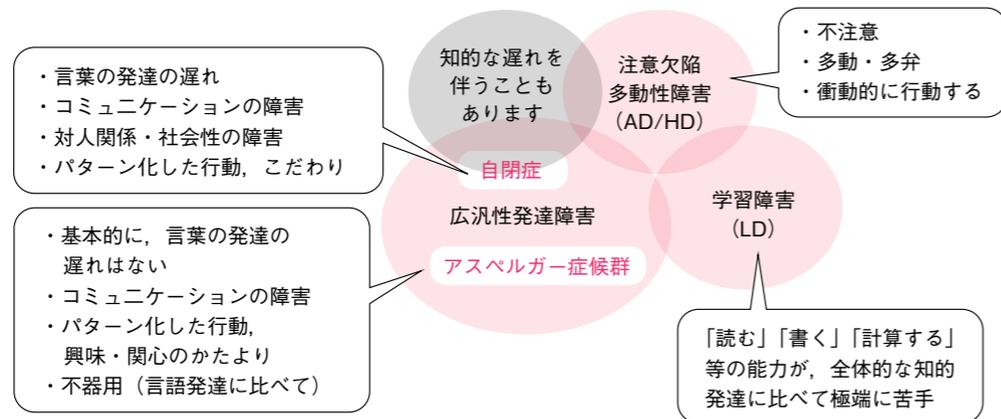


図 4-2 発達障害の特性

(厚生労働省ホームページ:「発達障害の理解のために」より作成)

● こだわりと想像力の障害

物事にこだわりやすい特徴があります。また、同じ動作を何度も繰り返します(常同行動)。何かを行うとき、同じ順序・方法と状態にこだわり、それが変わると混乱してしまいがちです。言い換えると物事を予測して、気持ちや行動を切り換えたりすることが苦手です。そのため新たな計画を立てたり実行することがなかなかできません。

● 感覚の障害

水や高いところが好きです。甲高い赤ちゃんの泣き声や大きな音は苦手です。音や肌に触れるものに関して、極端に反応します。また味やにおいに敏感で、好きなものだけを食べ続けるなど、極端な偏食になりやすい傾向があります。



・視線が合いにくい



・ひとり遊びが多い



・言葉が少ない



・質問におうむ返しで答える



・回転するものに興味をもつ



・同じパターンで行動するのを好む

図 4-3 発達障害の行動の特徴(例)